

I. 生活調査

1 生活調査の回答者のプロフィール

1-1 広島市の外国人数の動向

日本に居住する外国人数は、ニューカマーの来日によって1980年代半ばより急増した。表-1.1からは、全国的な動向ほど急激ではなかったが、広島市においても外国人の増加が見られたことが分かる。1984年に1万1,855人であった外国人登録者数は、前回の調査が行われた2002年には1万4,670人へと増加し、2008年には1万7,040人に達した。しかし、同年に発生した金融危機とそれともなう雇用状況の変化は、日本の外国人数に減少をもたらすこととなり、広島市でも2009年から減少が続いている。

表-1.1 広島市の外国人登録者数の推移（人）

	総数	韓国・朝鮮	中国	フィリピン	ブラジル	米国	ペルー	その他
1984	11,855	10,604	398	130	10	328	3	382
1986	11,730	10,199	457	254	13	439	5	363
1988	12,372	10,498	599	320	13	478	4	460
1990	12,910	10,246	832	488	297	465	19	563
1992	14,081	10,087	1,145	493	916	468	267	705
1994	13,970	9,578	1,664	684	648	423	191	782
1995	14,451	9,811	1,553	791	740	473	235	848
1996	13,903	9,386	1,717	796	627	436	172	769
1997	13,744	9,073	1,808	821	658	502	170	712
1998	13,901	8,866	2,050	927	558	550	169	781
1999	13,949	8,734	2,165	1,054	478	564	154	800
2000	14,156	8,557	2,321	1,196	523	497	150	912
2001	14,398	8,278	2,616	1,200	631	479	154	1,040
2002	14,670	8,026	2,974	1,308	624	471	146	1,121
2003	14,920	7,813	3,145	1,472	612	490	140	1,248
2004	15,356	7,709	3,419	1,647	638	511	133	1,299
2005	15,991	7,597	3,997	1,598	714	522	132	1,431
2006	16,559	7,449	4,615	1,742	674	516	140	1,423
2007	16,869	7,333	5,000	1,761	647	477	140	1,511
2008	17,040	7,185	5,403	1,678	646	433	136	1,559
2009	16,874	7,012	5,408	1,707	630	416	146	1,555
2010	16,506	6,829	5,351	1,723	560	380	146	1,517
2011	16,379	6,735	5,435	1,694	530	381	148	1,456
(2012)	15,861	6,329	5,351	1,665	513	400	133	1,470

注：1) 2002年までは12月末日現在 『在留外国人統計』より作成

2) 2012年は4月末日現在 広島市資料より作成

1-2 国籍

有効回収率が高かった国籍(出身地)は、英国(59.4%)・タイ(57.4%)・ブラジル(51.5%)・米国(47.5%)などである。一方で、抽出数が少なかったペルーを別にすれば、ベトナムの有効回収率が22.4%とかなり低かった。

表-1.2 国籍（出身地）別回収結果

国籍	登録者数	抽出数	回収数	返送数	返送率	有効回収率
韓国	5,045 (36.2)	1,464 (36.6)	640 (39.7)	34	2.3	44.8
中国	4,668 (33.5)	1,356 (33.9)	495 (30.7)	70	5.2	38.5
フィリピン	1,418 (10.2)	412 (10.3)	158 (9.8)	9	2.2	39.2
朝鮮	673 (4.8)	199 (5.0)	79 (4.9)	7	3.5	41.1
ブラジル	381 (2.7)	109 (2.7)	53 (3.3)	6	5.5	51.5
米国	344 (2.5)	101 (2.5)	47 (2.9)	2	2.0	47.5
ベトナム	277 (2.0)	80 (2.0)	17 (1.1)	4	5.0	22.4
タイ	165 (1.2)	48 (1.2)	27 (1.7)	1	2.1	57.4
英国	113 (0.8)	34 (0.8)	19 (1.2)	2	5.9	59.4
ペルー	105 (0.8)	30 (0.8)	10 (0.6)	0	0.0	33.3
その他	766 (5.5)	167 (4.2)	63 (3.9)	8	4.8	39.6
合計	13,955 (100.0)	4,000 (100.0)	1611 (100.0)	143	3.6	41.8

注：1) 登録者数は住民基本台帳に登録されている18歳以上の人数。2012年8月17日現在。

2) 登録者数・抽出数・回収数のカッコ内は構成比(%)。返送率・回収率は%。

3) 「中国」には台湾を含む。

4) 回収数の合計には国籍を無回答だった3人を含む。

1-3 性別

回答者全体の女性比率は60.9%であり、男性の方が多いのは欧米系諸国のみであった。特に女性比率が高かったのは、フィリピンの90.5%である。

表-1.3 女性比率と男女の国籍（出身地）別構成比(%)

	女性比率	男性	女性
韓国・朝鮮	56.8	49.5	41.7
在日コリアン	54.3	46.5	35.4
朝鮮籍	53.2	5.9	4.3
韓国籍	54.5	40.6	31.1
在日コリアン以外	76.2	3.0	6.2
中国	63.6	28.6	32.0
中国帰国者	55.1	6.4	5.0
中国帰国者以外	65.5	22.2	27.0
フィリピン	90.5	2.4	14.6
アジア諸国	62.0	4.3	4.5

朝鮮籍	88.6	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
韓国籍	85.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
在日コリアン以外	0.0	43.3	23.9	6.0	7.5	9.0	0.0	3.0	7.5
中国	0.8	43.8	11.3	15.0	8.6	7.2	9.9	1.6	1.6
中国帰国者	0.0	89.9	5.6	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0
中国帰国者 以外	1.0	33.5	12.6	17.9	10.6	8.8	12.1	1.5	2.0
フィリピン	0.0	47.4	26.6	0.0	0.6	1.3	0.6	10.4	13.0
アジア諸国	0.0	19.7	15.2	10.6	16.7	3.0	9.1	0.0	25.8
中米南米諸国	0.0	77.4	8.1	0.0	0.0	1.6	0.0	9.7	3.2
欧米系諸国	1.0	48.5	20.8	1.0	20.8	3.0	1.0	1.0	3.0
全体	34.9	32.9	9.4	5.4	5.1	3.1	3.6	2.1	3.5

注：1) 「専門・管理的職業」は「外交、公用、教授、芸術、宗教、報道」と「投資・経営、法律・会計業務、医療、研究、教育、技術、人文知識・国際業務、企業内転勤、技能」の合計。

2) 「研修・技能実習」は「研修」と「技能実習」の合計。

1-6 居住期間と日本への滞在予定、日本国籍の取得

表1-6は、日本と広島市での通算の居住期間である。いずれも平均値を示した。回答者全体では、それぞれの平均居住期間は日本が29.9年、広島が24.7年であった。日本生まれが9割以上を占める在日コリアンを除けば、日本は12.2年、広島は10.3年である。

表-1.6 居住期間

	平均居住期間		日本での通算居住期間						
	日本	広島市	1年未満	1年～	3年～	5年～	10年～	20年～	30年～
韓国・朝鮮	53.6	44.1	0.1	0.1	0.4	1.0	4.2	7.0	87.0
在日コリアン	57.0	46.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	4.4	94.9
朝鮮籍	54.6	39.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	6.5	92.2
韓国籍	57.4	48.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	4.1	95.3
在日コリアン以外	26.3	21.7	1.3	1.3	3.9	9.2	32.9	27.6	23.7
中国	9.6	8.3	4.8	16.4	12.8	24.2	33.3	5.6	2.9
中国帰国者	12.8	12.2	0.0	3.4	6.9	19.5	57.5	9.2	3.4
中国帰国者以外	8.9	7.4	5.8	19.2	14.1	25.3	28.0	4.8	2.8
フィリピン	10.9	10.1	1.3	8.6	12.6	27.2	34.4	15.9	0.0
アジア諸国	5.9	5.1	6.1	34.8	24.2	13.6	15.2	6.1	0.0
中米南米諸国	15.9	13.2	0.0	0.0	0.0	17.7	43.5	38.7	0.0

欧米系諸国	17.6	13.2	1.0	8.3	14.6	19.8	21.9	19.8	14.6
在日コリアンを除いた全体	12.2	10.3	3.3	13.3	12.2	21.8	31.7	12.7	4.9
全体	29.9	24.7	2.0	8.0	7.4	13.2	19.4	9.5	40.4

注：平均居住期間の単位は年。日本での通算居住期間の構成比は%。

表-1.7 は、日本への滞在予定である。「日本に住み続ける」を回答した者が 97.1%を占める在日コリアンを除けば、「日本に住み続ける」は 59.3%、「日本に拠点を置きつつ、母国と日本を往復する」が 18.2%であった。

表-1.7 日本への滞在予定 (%)

	日本に住み続ける	母国へ帰国	日本・母国以外へ	母国と往復 日本を拠点	母国と往復 母国を拠点	わからない
韓国・朝鮮	94.0	0.6	0.0	3.0	0.1	2.3
在日コリアン	97.1	0.2	0.0	1.3	0.0	1.4
朝鮮籍	94.9	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6
韓国籍	97.4	0.2	0.0	1.1	0.0	1.3
在日コリアン以外	69.6	3.8	0.0	16.5	1.3	8.9
中国	63.6	10.2	0.2	17.5	2.1	6.4
中国帰国者	82.0	0.0	1.1	9.0	0.0	7.9
中国帰国者以外	59.4	12.5	0.0	19.4	2.6	6.1
フィリピン	44.6	3.4	0.7	31.8	14.2	5.4
アジア諸国	42.6	39.7	0.0	5.9	4.4	7.4
中米南米諸国	56.5	9.7	0.0	21.0	4.8	8.1
欧米系諸国	65.7	8.1	4.0	10.1	3.0	9.1
在日コリアンを除いた全体	59.3	10.5	0.6	18.2	4.4	6.9
全体	74.4	6.4	0.4	11.4	2.6	4.7

表-1.8 は、日本国籍取得についての意識である。回答者全体では、「取得したい」が 25.4%、「どちらかと言えば取得したい」が 15.7%、「どちらかと言えば取得したくない」が 7.9%、「取得したくない」が 23.6%、「どちらとも言えない」が 27.4%であった。

表-1.8 日本国籍取得についての意識 (%)

	取得したい	どちらかと言えば取得したい	どちらかと言えば取得したくない	取得したくない	どちらとも言えない
韓国・朝鮮	29.3	15.1	6.8	21.3	27.5
在日コリアン	31.1	14.3	5.7	20.0	28.9
朝鮮籍	21.9	9.6	6.8	38.4	23.3
韓国籍	32.3	14.9	5.5	17.5	29.7
在日コリアン以外	14.7	21.3	16.0	32.0	16.0
中国	22.6	12.1	9.5	23.9	31.9
中国帰国者	27.0	12.4	7.9	15.7	37.1
中国帰国者以外	21.7	12.1	9.8	25.7	30.7
フィリピン	32.5	33.1	5.8	11.7	16.9

アジア諸国	21.7	8.7	5.8	44.9	18.8
中米南米諸国	20.6	20.6	15.9	14.3	28.6
欧米系諸国	6.9	11.9	7.9	46.5	26.7
全体	25.4	15.7	7.9	23.6	27.4

1-7 親族関係

表-1.10 は、婚姻状態である。結婚している者に占める配偶者が日本国籍である者の比率についても、日本人との「通婚率」として合わせて示した（ただし、この場合の日本人はあくまでも日本国籍を持っている人という意味である）。回答者全体では、結婚している者が 66.2%であり、配偶者が日本国籍である者は 30.2%、配偶者が自分と同じ国籍である者は 34.2%、配偶者が日本国籍でも自分と同じ国籍でもない者は 1.8%であった（表中では「その他」として示した）。

表-1.10 婚姻状態 (%)

	結婚している			していない	離別・死別	日本人との通婚率
	配偶者の国籍					
	日本	同国	その他			
韓国・朝鮮	21.9	34.6	1.9	20.7	20.9	37.5
在日コリアン	19.2	34.8	1.9	22.2	21.9	34.3
朝鮮籍	14.5	40.8	5.3	22.4	17.1	23.9
韓国籍	19.8	33.9	1.5	22.2	22.6	35.9
在日コリアン以外	43.6	33.3	1.3	9.0	12.8	55.7
中国	28.2	44.9	0.2	23.2	3.5	38.4
中国帰国者	20.5	64.8	0.0	10.2	4.5	24.0
中国帰国者以外	29.9	40.5	0.3	26.1	3.3	42.3
フィリピン	66.2	7.0	1.9	9.6	15.3	88.1
アジア諸国	29.6	28.2	5.6	35.2	1.4	46.7
中米南米諸国	18.0	52.5	3.3	16.4	9.8	24.4
欧米系諸国	50.0	14.7	5.9	23.5	5.9	70.8
全体	30.2	34.2	1.8	21.1	12.7	45.6

1-8 居住分布と居住形態

表-1.11 は、区ごとの居住分布である。回答者全体では、西区 (22.7%) と中区 (20.0%) の居住者の比率が他の区と比較して高い。

表-1.11 区ごとの居住分布 (%)

	中	東	南	西	安佐南	安佐北	安芸	佐伯
韓国・朝鮮	16.7	11.8	12.5	24.5	12.5	9.7	5.3	6.8
在日コリアン	16.3	12.1	11.6	26.0	11.4	10.2	5.2	7.2
朝鮮籍	13.9	13.9	15.2	29.1	10.1	6.3	6.3	5.1
韓国籍	16.6	11.8	11.1	25.6	11.6	10.7	5.0	7.5
在日コリアン以外	20.0	10.0	20.0	12.5	21.3	6.3	6.3	3.8
中国	23.8	8.1	10.0	28.3	7.9	13.2	4.7	3.9

中国帰国者	33.3	8.9	2.2	24.4	1.1	26.7	2.2	1.1
中国帰国者以外	21.7	8.0	11.7	29.2	9.5	10.2	5.2	4.5
フィリピン	25.5	7.0	10.8	14.6	12.7	16.6	7.0	5.7
アジア諸国	12.7	9.9	16.9	7.0	8.5	32.4	7.0	5.6
中米南米諸国	17.5	4.8	12.7	4.8	3.2	7.9	46.0	3.2
欧米系諸国	23.0	18.0	10.0	18.0	15.0	5.0	2.0	9.0
全体	20.0	10.2	11.6	22.7	10.7	12.1	6.7	5.8

表-1.12 は、国籍（出身地）別の集住状況である。回答者全体では、「多く住んでいる」が16.0%、「何人か住んでいる」が51.5%、「全く住んでいない」が32.5%であった。

表-1.12 近所に住む「同じ国」の人（%）

	多く居住	何人か居住	全くいない
韓国・朝鮮	16.7	52.0	31.3
在日コリアン	17.4	51.9	30.8
朝鮮籍	20.5	61.6	17.8
韓国籍	16.9	50.4	32.7
在日コリアン以外	11.8	52.6	35.5
中国	21.3	53.6	25.1
中国帰国者	36.0	50.6	13.5
中国帰国者以外	18.0	54.2	27.8
フィリピン	15.8	48.0	36.2
アジア諸国	7.0	54.9	38.0
中米南米諸国	4.9	55.7	39.3
欧米系諸国	0.0	37.1	62.9
全体	16.0	51.5	32.5

表-1.13 は、住居形態である。回答者全体では、持ち家が34.0%、民間の借家が33.0%、公営住宅が18.0%、社宅・社員寮が9.4%、学生寮が0.8%、その他が4.9%であった。

表-1.13 住居形態（%）

	持ち家	民間の借家	公営住宅	社宅・社員寮	学生寮	その他
韓国・朝鮮	45.0	29.6	17.4	2.4	0.6	5.0
在日コリアン	45.5	29.1	18.2	2.1	0.3	4.8
朝鮮籍	32.1	23.1	26.9	3.8	2.6	11.5
韓国籍	47.4	29.9	17.0	1.8	0.0	3.8
在日コリアン以外	40.5	34.2	11.4	5.1	2.5	6.3
中国	21.4	29.1	29.7	14.8	0.4	4.5
中国帰国者	14.8	14.8	62.5	3.4	0.0	4.5
中国帰国者以外	22.9	32.2	22.4	17.4	0.5	4.5
フィリピン	27.5	56.9	4.6	6.5	0.7	3.9
アジア諸国	21.1	19.7	2.8	42.3	5.6	8.5
中米南米諸国	40.7	37.3	8.5	10.2	0.0	3.4

欧米系諸国	33.0	46.0	3.0	12.0	1.0	5.0
全体	34.0	33.0	18.0	9.4	0.8	4.9

1-9 学歴

表-1.14 は、学歴である。民族系や外国系の学校、インターナショナルスクールも含めて質問している。また、在学中の場合は現在通っている学校を回答してもらった。回答者全体では、義務教育未修了が 3.7%、義務教育程度が 23.3%、高校程度が 35.1%、高等教育（短大・高等専門学校、大学、大学院）は 38.0%であった。

表-1.14 学歴（%）

	義務教育 未修了	義務教育 程度	高校程度	高等教育
韓国・朝鮮	5.6	30.2	43.6	20.6
在日コリアン	6.1	32.0	44.3	17.6
朝鮮籍	3.9	23.4	51.9	20.8
韓国籍	6.4	33.3	43.2	17.1
在日コリアン以外	1.3	15.6	37.7	45.5
中国	2.7	22.8	20.1	54.2
中国帰国者	6.8	44.3	15.9	33.0
中国帰国者以外	1.8	17.9	21.0	59.0
フィリピン	0.0	8.2	58.2	33.6
アジア諸国	2.9	11.6	39.1	46.4
中米南米諸国	5.1	28.8	28.8	37.3
欧米系諸国	0.0	3.0	15.0	82.0
全体	3.7	23.3	35.1	38.0

注：1) 在学中も含む

2) 高等教育は、「短大・高等専門学校」「大学」「大学院」を回答した者

3) 「その他」：中国 0.2%、中国帰国者以外 0.3%

1-10 言語

表-1.15 は、日本語能力を尋ねた結果である。

これらの能力に関する評価は、回答者が自分で判断したものである。

「話す・聞く」「読む」「書く」の全てで選択肢の 1 を回答した者は（選択肢の 1 はそれぞれ「日本語を母語とする人と同じくらい話し、聞ける」「日本語の新聞、雑誌、小説など日本語を母語とする人と同じくらい読める」「漢字やひらがなを使って不自由なく文章が書ける」である）、「母語と同じ」とした。回答者全体では 41.3%であり、在日コリアンを除けば 17.1%である。全ての選択肢で 1 か 2 を回答した者は（選択肢の 2 はそれぞれ「日常生活に困らない程度に話し、聞ける」「ひらがなあるいはカタカナは確実に読め、簡単な漢字くらいなら読める」「漢字はあまり書けないが、ひらがなで文章が書ける」である）、「日常生活では問題なし」とした。回答者全体では 66.8%、在日コリアンを除けば 54.9%であった。

表-1.15 日本語能力（%）

	母語と同じ (全て 1)	日常生活では問題なし(全て1 か2)	不自由あり (3か4)			ほとんどできない(全て4)
			話す・聞く	読む	書く	

韓国・朝鮮	79.2	93.7	1.7	2.9		
在日コリアン	84.2	95.4	0.8	2.4	3.5	0.0
朝鮮籍	98.7	100.0	0.0	1.3	2.6	0.0
韓国籍	94.9	99.1	0.9	2.6	3.7	0.0
在日コリアン以外	39.0	80.5	9.1	6.3	15.2	1.3
中国	19.7	56.5	37.3	23.8	32.3	4.2
中国帰国者	15.6	41.6	50.6	37.3	50.0	6.5
中国帰国者以外	20.6	59.6	34.4	20.9	28.6	3.7
フィリピン	3.5	41.0	14.8	35.5	60.0	2.1
アジア諸国	4.4	45.6	39.1	36.2	32.4	4.4
中米南米諸国	13.8	43.1	35.5	50.8	54.2	6.9
欧米系諸国	18.6	60.8	30.3	19.4	32.3	7.2
在日コリアンを 除いた全体	17.1	54.9	30.6	26.4	36.8	4.1
全体	41.3	66.8	18.1	16.9	22.3	2.5